

2025年度 教科課程

言語聴覚士科 1年

学年目標

主体的に学習する姿勢を習慣化し、言語聴覚療法の基礎を習得する

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位 数)	教 科 目 標
モチベーションプログラム	心理学概論	Introduction to psychology	基礎	必修	講義	30	(2)	心理学の概論を知り、心理学がどのような学問であるかを理解する。
	導入教育 I	introduction education	基礎	必修	演習	30	(2)	課題解決プログラムから多職種連携に向けた協働する力と学習の良い習慣を身につける。
	実習教育 I	Practical education	基礎	必修	演習	15	(1)	実習に必要な考え方や病院内でのマナーを学び、見学研修に繋げる。
	国際教育	Overseas Training	基礎	選択	演習	15	(1)	海外の医療・福祉の学びを通じて、国際的な感性を磨く。
	社会人教育	Society Education	基礎	必修	講義	30	(2)	社会人基礎力等を学んだ上で見学研修に行き、マナーのある対応を実践する。
	プロ養成講座	Professional Training Course	基礎	必修	講義	30	(2)	言語聴覚士の基礎となる正しい日本語を学び、人に伝える文章を書く方法やお礼状の書き方を学習する。
	社会福祉概論	Introduction to Social Welfare	基礎	必修	講義	30	(2)	身近な社会福祉制度について学び、社会人としての基礎知識を身につける。

	コンピューター	Computer	基礎	必修	講義	30	(2)	ネットワーク環境を理解する。Word での複合文書の作成や、PowerPoint を効果的に使用できる。
	英語 I	English Convvesation I	基礎	必修	講義	30	(2)	生きた英語コミュニケーションを楽しく学び、国際感覚を身につける。
	英語 II	Medical English II	基礎	必修	講義	30	(2)	言語聴覚士が知っておくと便利な医療用語や文例について学ぶ。
	保健体育	Health and Physical Education	基礎	必修	演習	30	(2)	高齢者や障害児(者)が、スポーツ・レクリエーションを通して、豊かな交流をもてる支援について学ぶ。
	子ども学	Child Education	基礎	必修	講義	30	(2)	保育の観点から子どもの見方や遊びを学び、幅広く対応できるようになる。
ミッションプログラム	解剖生理学	Anatomy and Physiology	専門基礎	必修	講義	60	(4)	人体の構造および機能について、組織、臓器、個体レベルまで総合的に学習する。
	医学総論	Medical introduction	専門基礎	必修	講義	15	(1)	医療人として必要な最新の知識、医療倫理・インフォームドコンセント・チーム医療などについて学ぶ。
	病理学	Pathology	専門基礎	必修	講義	15	(1)	がんや自己免疫疾患など様々な病気について、原因や診断、進展機序を学ぶ。
	内科学	Internal Medicine	専門基礎	必修	講義	30	(2)	言語聴覚療法と関係の深い内科疾患について臓器別に病因や特徴、治療について学ぶ。
	聴覚系の構造・機能・病態 I	Physical and Functional Diseases of the Auditory System I	専門基礎	必修	講義	30	(2)	聴器の解剖・生理学的知識と病態について学ぶ。
	呼吸発声発語系の構造・機能・病態 I	Physical and Functional Diseases of the Respiratory System I	専門基礎	必修	講義	30	(2)	呼吸器および発声発語器官の形態や機能、音声障害を引き起こす病気について学ぶ。

	神経系の構造・機能・病態 I	Physical and Functional Diseases of the Nervous System	専門基礎	必修	講義	30	(2)	脳や神経の各部名称を説明することができる。脳・神経疾患の病態や治療を学び、患者の生涯像を理解する。
	音声学 I	Phonetics I	専門基礎	必修	講義	30	(2)	音声を調音様式と調音点という視点でまとめ、表記方法を学ぶ。抑揚や調音結合など話しことばの変化にも注目する。
	言語発達学 I	Speech Development I	専門基礎	必修	講義	30	(2)	前言語期から言語期の発達段階それぞれの言語発達を学習する。障害の把握に必要なスクリーニングについて学ぶ。
	リハビリテーション医学	Rehabilitation Medicine	専門基礎	必修	講義	30	(2)	言語聴覚士にとって重要なリハビリテーションを医学的側面から学習する。
	臨床歯科医学・口腔外科学 I	Clinical Dentistry and Dental Surgery I	専門基礎	必修	講義	15	(1)	言語聴覚士として必要な臨床歯科医学、歯科口腔外科領域の知識を学び、理解する。
	臨床心理学 I	Clinical Psychology	専門基礎	必修	講義	30	(2)	臨床心理の基礎から心理療法までを学習し、障害受容について学ぶ。
	生涯発達心理学 I	Life-long Development Psychology	専門基礎	必修	講義	30	(2)	生まれてから死に至るまでの流れを発達として捉え、それぞれのライフサイクルにおける発達課題を探求する。
プロフェSSIONナルプログラム	言語聴覚障害診断学 I	Diagnosis of Speech and hearing Disabilities I	専門	必修	講義	30	(2)	小児の言語聴覚療法の評価・治療について学び、学内実習に対応できるようになる。
	言語聴覚障害概論	Introduction to Speech and Hearing Disabilities I	専門	必修	講義	30	(2)	言語聴覚士の援助の対象となるコミュニケーション障害について学ぶ。
	言語発達障害学 I	Language Development Disorders I	専門	必修	講義	30	(2)	言語発達障害についてその障害知識および指導法等を学ぶ。
	失語症 I	Aphasia I	専門	必修	講義	30	(2)	成人の臨床場面で接することが多い失語症の基礎知識や検査方法について学ぶ。
	高次脳機能障害学 I	Higher Brain Dysfunction I	専門	必修	講義	30	(2)	記憶や注意などの高次脳機能について、その種類、障害、評価方法、訓練について学ぶ。

	言語発達障害学Ⅱ	Language Development Disorders II	専門	必修	講義	60	(4)	言語障害児に対する学内実習を通し、評価や治療に関する知識や技能を身につける。	
	機能性構音障害	Functional Articulation Disorders	専門	必修	講義	30	(2)	機能性構音障害の基礎的知識と構音検査および訓練法を習得する。	
	運動障害性構音障害Ⅰ	Dysarthria I	専門	必修	講義	30	(2)	運動障害性構音障害の基礎知識や、評価について学ぶ。	
	摂食嚥下障害概論	Introduction To Dysphagia	専門	必修	講義	30	(2)	社会的ニーズの高い摂食嚥下障害の解剖学的知識やメカニズムなどの基礎知識を学ぶ。	
	見学実習	Observation training	専門	必修	演習	40	(1)	臨床実習ⅠⅡに向けて、臨床現場の基礎を学ぶ。	
	聴力検査法Ⅰ	Hearing Test I	専門	必修	演習	30	(2)	純音聴力検査が手順通りに実施できるようになる。	
総コマ数 36		総時間数 1075					総単位数 70		

2025年度 教科課程

言語聴覚士科 2年

学年目標

学内実習や臨床実習を通し専門的知識や能力を習得し、柔軟な対応力を身につける

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位 数)	教 科 目 標
モチベーション プログラム	統計学	Statistics	基礎	必修	講義	30	(2)	Excel を利用し、表計算や表やグラフの作成方法を学ぶ。統計処理を学習する。
	心理カウンセリング	Psychological Counseling	基礎	必修	演習	30	(2)	患者やその家族の心理的ニーズを理解し、適切な支援を提供するためのカウンセリング技術を習得します。コミュニケーション障害に対する心理的アプローチを強化します。
	導入教育Ⅱ	introduction educationⅡ	基礎	必修	演習	30	(2)	言語聴覚療法の基礎知識を習得し、臨床現場での実践的なスキルを身につける。また、国家試験を見据えた集団での学習方法を身につける。
	実習教育Ⅱ	Practical educationⅡ	基礎	必修	演習	15	(1)	実習に必要な考え方や病院内でのマナーを学び、臨床実習Ⅰに繋げる。
	医療安全	Medical Safety	基礎	必修	演習	30	(2)	医療現場での事故防止や感染管理、倫理的配慮を学び、実践的な対応力を養います。

	解剖学	Anatomy	専門	必修	演習	30	(2)	各種の脳画像の見方について学び、患者様の障害像について推察できるようになる。人体の解剖について復習し、国家試験に対応できる力を身につける。
	言語聴覚総合講座 I	Preparation for the National Examination I	専門	選択必修	講義	30	(2)	成人の学内実習を通し、評価や治療計画立案や治療を経験する。
	言語聴覚総合講座 II	Preparation for the National Examination II	専門	必修	演習	30	(2)	国家試験問題に挑戦し、必要となる調べ方や考え方や解き方を身につける。
ミッション プログラム	小児科学	Pediatrics	専門基礎	必修	講義	30	(2)	新生児期から思春期へと、子どもの発達・成長から病気、遺伝疾患や症候群について学ぶ。
	学習・認知心理学	Learning Cognitive Psychology	専門基礎	必修	講義	30	(2)	学習、記憶、感覚、知覚、認知などについて学ぶ。
	言語学 I	Linguistics I	専門基礎	必修	講義	15	(1)	言語学の様々な分野における基礎知識を身につけ、科学的に言語を分析する視点を身につける。
	音響学・聴覚心理学 I	Acoustics・Audio Psychology I	専門基礎	必修	講義	30	(2)	音の構成を物理化学的に分析する音響学や、音の心理的側面について学習する。
	社会保障制度・関係法規 I	Social Security System・Related Laws	専門基礎	必修	講義	30	(2)	言語聴覚士が知っておくべき医療・福祉に関係する法律と患者様の生活を支える社会福祉制度について学ぶ。
	リハビリテーション概論	Introduction to Rehabilitation	専門基礎	必修	講義	30	(2)	様々なリハビリテーションの種類と概要について学び、他職種連携力を身につける。

	耳鼻咽喉科学	Otolaryngology	専門基礎	必修	講義	30	(2)	耳・鼻・口・喉の病気について病因や特徴、治療について学ぶ。
	精神医学	Psychiatry	専門基礎	必修	講義	15	(1)	精神障害の分野について医学的側面から学習する。
	臨床神経学	Clinical Neurology	専門基礎	必修	講義	30	(2)	脳血管障害や脳腫瘍などの言語障害を引き起こす脳疾患の病態、画像診断、医学的治療について学ぶ。
	心理測定法	Psychological Measurement	専門基礎	必修	講義	30	(2)	言語聴覚士として必要な心理現象の測定方法に関する知識を習得する。
プロフェッショナルプログラム	言語聴覚障害診断学Ⅱ	Diagnosis of Speech and hearing Disabilities II	専門	必修	講義	60	(4)	成人の言語聴覚療法の評価・治療について学び、学内実習に対応できるようになる。
	音声障害Ⅰ	Voice Disorders	専門	必修	講義	15	(1)	音声産出の元となる「声」を生成する器官の解剖・生理を理解し、音声障害の評価、治療を一連の流れで考えることができるようにする。
	言語聴覚障害診断学Ⅲ	Diagnosis of Speech and hearing Disabilities III	専門	必修	講義	30	(2)	成人の言語聴覚療法の評価・治療について更に学びを深め、学外実習に対応できるようになる。
	失語症Ⅱ	Aphasia II	専門	必修	講義	30	(2)	失語症の評価や地用法について学び、一連の流れを理解する。
	高次脳機能障害学Ⅱ	Higher Brain Dysfunction II	専門	必修	講義	30	(2)	各々の高次脳機能障害特徴とそれぞれに対応する検査の目的と実施方法および結果の解釈について理解する。
	言語発達障害学Ⅲ	Language Development Disorders III	専門	必修	講義	30	(2)	学習障害・脳性麻痺のメカニズム・障害・指導について理解を深め、臨床における基盤を作る。

摂食嚥下障害 I	Dysphagia I	専門	必修	講義	30	(2)	嚥下障害の基礎知識を復習し、言語発音言語聴覚士に必要な評価方法と治療の概要について学ぶ。
摂食嚥下障害 II	Dysphagia II	専門	必修	講義	30	(2)	嚥下障害の治療に関わる知識や技術を習得する。
器質性構音障害	Organic Articulation Disorders	専門	必修	講義	15	(1)	器質性構音障害の基礎的知識と評価治療について学び、症例報告の書き方を知る。
小児聴覚障害	Infantile Auditory Rehabilitation	専門	必修	講義	15	(1)	小児難聴の評価や支援の視点を学び、言語と聴覚は密接に関わっていることを理解する。
運動障害性構音障害 II	Dysarthria II	専門	必修	講義	30	(2)	運動障害性構音障害の基礎知識や評価・治療を振り返り、治療方法を身につけ、対応について学ぶ。
吃音	Stuttering	専門	必修	講義	15	(1)	吃音に関する基礎知識、評価、指導といった一連の流れを学習する。
成人聴覚障害	Auditory Rehabilitation	専門	必修	講義	15	(1)	先天性難聴や中途失聴や老人性難聴などの難聴の影響、情報補償について学ぶ。国家試験で問われる知識を確認する。
聴力検査法 II	Hearing Test II	専門	必修	演習	30	(2)	聴覚を適切に評価し支援内容を検討する力を養うため、各種聴力検査について目的・方法・結果の解釈を理解する。
補聴器・人工内耳	Hearing Aid and Artificial Inner Ears I	専門	必修	講義	30	(2)	補聴器の仕組みや特徴を理解する。人工内耳についてその特徴や適応、調整について学ぶ。
地域言語聴覚療法学	Community-based Speech and hearing therapy	専門	必修	講義	30	(2)	地域包括ケアシステムとともに、言語聴覚士が行う訪問リハや通所リハの実際について学ぶ。

	臨床実習 I	Clinical Practice I	専門	必修	実習	240	(6)	現場において患者様に対する接遇、様々な障害の評価方法、評価結果の分析および、他の医療職からの情報収集の方法を習得する。これを通して患者様の状態を総合的に評価し治療プログラムを立案できる。	
総コマ数 35		総時間数 1155					総単位数 53		

2025年度 教科課程

言語聴覚士科 3年

学年目標

医療・福祉分野の多職種連携力を身につけ、国家試験合格に必要な知識を習得する

区分	開講科目名	English	分類	必修 選択	授業 形態	時間 数	(単 位数)	教 科 目 標
モチベーション プログラム	導入教育Ⅲ	introduction education II	基礎	必修	演習	15	(1)	言語聴覚療法の基礎知識を習得し、臨床現場での実践的なスキルを身につける。また、国家試験を見据えた集団での学習方法を身につける。
	実習教育Ⅲ	Practical education II	基礎	必修	演習	15	(1)	実習に必要な考え方や病院内でのマナーを学び、臨床実習Ⅰに繋げる。
	言語聴覚総合講座Ⅲ	Preparation for the National Examination III	専門	必修	演習	30	(2)	症例発表に必要な知識を学び、分かりやすく適切な症例発表ができる。
ミッション プログラム	形成外科学	Plastic Surgery	専門 基礎	必修	講義	15	(1)	口蓋裂などの形成外科的疾患や、褥瘡などの皮膚疾患について学ぶ。
	音声学Ⅱ	Phonetics II	専門 基礎	必修	講義	15	(1)	過去問題や模試問題を解きながら、音声学の基本知識を復習し、国家試験に必要な力を身に付ける。
	言語発達学Ⅱ	Speech Development II	専門 基礎	必修	講義	15	(1)	健常児の言語発達を復習し、国家試験に必要な力を身につける。
	臨床医学	clinical medicine	専門 基礎	必修	講義	30	(2)	学的知識を基に、言語聴覚療法に関連する疾患の理解を深め、患者の治療に必要な知識と技能を習得します。
	薬理学	Pharmacology	専門 基礎	必修	講義	15	(1)	薬物の作用や副作用を理解し、言語聴覚療法における薬物の適切な使用法を学ぶ。
	栄養学	Nutrition	専門 基礎	必修	講義	15	(1)	患者の栄養状態を評価し、適切な食事指導を行うための知識と技術を習得します。
	臨床歯科医学・ 口腔外科学Ⅱ	Clinical Dentistry and Dental Surgery II	専門 基礎	必修	講義	15	(1)	1年次に学んだ臨床歯科医学・歯科口腔外科領域の知識を復習し、国家試験対策に対応できる力を身につける。

	呼吸発声発語系の構造・機能・病態Ⅱ	Physical and Functional Diseases of the Respiratory SystemⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	発声発語器官の解剖生理について振り返り、問題を解きながら理解する。
	聴覚系の構造・機能・病態Ⅱ	Physical and Functional Diseases of the Auditory SystemⅡ	専門	必修	講義	30	(2)	聴器の解剖生理について振り返り、問題を解きながら理解する。
	神経系の構造・機能・病態Ⅱ	Physical and Functional Diseases of the Nervous SystemⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	言語聴覚士の資格取得に相応しい神経系の知識を再確認し、問題を解きながら理解する。
	臨床心理学Ⅱ	Clinical PsychologyⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	言語聴覚士に必要な臨床心理に関する知識を復習するとともに、国家試験に対応できる力を身に付ける。
	生涯発達心理学Ⅱ	Life-long Development PsychologyⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	言語聴覚士に必要な生涯発達に関する知識を復習するとともに、国家試験に対応できる力を身に付ける。
	言語学Ⅱ	LinguisticsⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	過去問題や模試問題を解きながら、言語学の基本知識を復習し、国家試験に必要な力を身に付ける。
	音響学・聴覚心理学Ⅱ	Acoustics・Audio PsychologyⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	過去問題や模試問題を解きながら、音響学・聴覚心理学の基本知識を復習し、国家試験に必要な力を身に付ける。
	社会保障制度・関係法規Ⅱ	Social Security System・Related LawsⅡ	専門	必修	講義	15	(1)	言語聴覚障害に関連する社会福祉関係法規について復習し、国家試験に必要な力を身に付ける。
プロフェッショナル プログラム	失語症Ⅲ	AphasiaⅢ	専門	必修	講義	30	(2)	失語症の症状や評価・治療を振り返り、国家試験に対応できる力を身に付ける。
	高次脳機能障害学Ⅲ	Higher Brain DysfunctionⅢ	専門	必修	講義	30	(2)	高次脳機能障害の症状や評価・治療を振り返り、国家試験に対応できる力を身に付ける。
	運動障害性構音障害Ⅲ	DysarthriaⅢ	専門	必修	講義	30	(2)	運動障害性構音障害の基礎知識や評価・治療を振り返り、国家試験に対応できる力を身に付ける。
	摂食嚥下障害Ⅲ	DysphagiaⅢ	専門	必修	講義	30	(2)	運動障害性構音障害の基礎知識や評価・治療を振り返り、国家試験に対応できる力を身に付ける。

	言語聴覚障害診断学 IV	Diagnosis of Speech and hearing DisabilitiesIV	専門	必修	講義	30	(2)	臨床実習での経験を踏まえ、症例を通じて様々な言語障害者の評価・治療について学ぶ。	
	言語発達障害学 IV	Language Development DisordersIV	専門	必修	講義	30	(2)	過去問題や模試問題を解きながら、言語発達障害学の基本知識を復習し、国家試験に必要な力を身に付ける。	
	音声障害 II	Voice Disorders II	専門	必修	講義	15	(1)	音声障害の症状や評価・治療を振り返り、国家試験に対応できる力を身に付ける。	
	言語聴覚療法管理学	Bachelor of Science in Speech, Language and Hearing	専門	必修	講義	30	(2)	言語聴覚療法の実践に必要な管理技術や知識を習得し、効果的なリハビリテーションを提供できる能力を養います。	
	臨床実習 II	Clinical Practice II	専門	必修	実習	320	(8)	臨床実習 I で得た患者様を総合的に評価する方法を基に、現場での更なる情報収集の方法と様々な障害に対する治療方法および再評価の方法を学ぶ。	
総コマ数 27		総時間数 860					総単位数 44		